大正十四年六月卅日發行

婦人衛生雜誌

第三百七十七號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌

第三百七十七號目次

講演

○公衆衛生　醫學博士　三浦謹之助述

叢談

○室內掃除法に就て　醫學博士　佐々木秀一述

○外科手術と恐怖　醫學博士　原　勇三述

○ハヤリ口　莊司秋次郎述

育兒

○コドモと果物　醫學博士　三田谷　啓述

○子守の話　醫學博士　竹内薫兵述

家庭衛生

○夏季衛生上の三大敵

○生水を飲むの可否

○食ひ合はせ

雜錄

○乳兒用牛乳

○母の學校

○蠅及蚊の天然敵保護案

會錄

○婦人衛生會總會並懇親會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第三百七十七號
（大正十四年六月卅日發行）

講演

公衆衛生

（四月二十六日本會總會に於ける講演の要旨）

醫學博士　三浦謹之助述

公衆衛生と申しますると、國全體の住民の健康を保全せしむる衛生の事でありまして、一國に於て、働く人が多く、病氣の人が少なくなれば、其國の富を増す事は明かでありますから、「健康は富なり」Health is Wealth と申す諺は眞であります。

然らば如何にして病人の數を減す事が出來るかと申しますと、傳染病であれば其傳染を防ぎ、又は豫防接種、又は豫防注射を爲し、小兒の病であれば小兒に善き牛乳を與へ、榮養をよくするとか、家屋の構造、上水下水、道路等に注意するとか、改良を施すとか、色々な道があります。

個人の衛生は公衆衛生の基でありまして、大切でありまするが、公衆衛生は國家と申す立場から人民全體の衛生に注意を致すのであります。

私は千九百十九年巴里の講和會議の時佛國に參り、又同二十一年皇太子殿下の御渡歐の供奉を致しまして英、佛、伊、蘭及び白耳義の公衆衛生の狀態を視察致し、又一昨年震災前には米國のロックフェラー財團よりの招待に應じ、他の五名の同僚と共に彼地に參り、各大學の設備等を視察の傍、公衆衛生に關する事を見まして、尙ほ一層歐洲に於けるよりも完備して居ります事を知り。本邦に於ける狀態と相對照して感慨無量でありましたから、今日本會

に於て皆様の御耳に入れます事と致しました。

佛國に於ては歐洲大戰以來、多數の人命を損しました爲に、大に公衆衛生の必要を感じ、結核、腸「チフス」及び小兒の死亡率減少に最も力を入れました。戰に勝つには智力、財力、武器の精鋭等は必要でありますけれども、人間の數が多くなければならぬ。所が佛國では出產率が少くありますから、大に人間の生命の尊き事を知り、妊婦及び小兒の衛生には殊に力を用ひまして、巴里に於ては從來癲狂院であつた「シァラントン」の病院の一部を開て妊婦收容所に致しまして、貧困なる妊婦は此所にて產を致し、初生兒にも十分なる保護を與へ、其死亡率を極力少くする樣に致しました。又雙兒を產むだり、多く產をする人には賞を與ふる樣にしました。又市中に牛乳檢查所兼消毒牛乳分配所を設けて、巴里市中にて小兒の哺乳に困る人には無料分配を致します。又其牛乳の消毒の致し方も、牛乳の性質を損せない樣に致し、其他小兒科の病院にも種々なる設備を致しました。

伊太利に於ては、結核に罹れる母の小兒を生後直ちに預り、母より小兒に傳染せざる樣に注意し、母の病氣の恢復せる後に渡す所が出來て居ります。又乳兒を無料で入院せしむる所も多數出來て居り、結核性の病に罹れる小兒を母より晝間預かり、夕方に家に返す所もあります。又學校の兒童に衛生に關する事を敎ふる爲に、各學校より每週一回、一定の場所に子供を集め、衛生に關する圖畫、標本、映畫等により公衆衛生の思想を注入する樣に致して居ります。

英國、和蘭、其他に於ても亦類似の設備がありまするが、米國では一層、公衆衛生の設備が十分に出來て居ります。ボルチモーアにては千九百十六年よりロックフェラー財團の援助により公衆衛生學校が出來ました。此學校を卒業致したるものは公衆衛生學士と申しまして、卒業後公衆衛生の事に從事致します。此學校にて敎ふる學課は、統計及生命學、流

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

行病學、榮養學、生理及衞生學、性病及傳染病學、衞生建築、學校衞生、衞生行政、工場衞生、傳染病豫防等であります。

ボストンのハァバード大學及びニューヘブンのエール大學等にも公衆衞生の部門が設けてあります。

公衆衞生に關する機關は、政府のと私立のとがありまして、互に連絡を取り仕事を致して居ります。

上水、下水、食料品、牛乳等の檢査は多く女子の手によつて行はれて居り、殊に牛乳檢査所などにては、婦人が細菌の檢査等を致して居ります。米國では、飲料水は濾過するばかりでなく、「クロール」を使つて消毒して居ります。泳ぎ場の水なども「クロール」で消毒致します。夫等の爲めと又水を飲む裝置は停車場、工場、學校等到る所にありますけれども、噴水の樣に出るので茶碗が要りません。又若し容器が入用なら、壹錢銅貨を入れて紙製の消毒した「コップ」を自動的に出す樣にして居ります。又市中に腸「チフス」患者などが有れば、之れを能く監視して傳染せしめない樣に致します爲に、私が千九百十一年米國に參りました頃は、多數の「チフス」患者がありましたのに、今日では稀れになりました。我國に於ては之れに反し年々歳々腸「チフス」の患者は多數に有りまして、殊に一昨年の震火災後は其數を增し、知名の士にして有爲の人も其爲に多數命を殞したのは遺憾に堪へません。

小兒の「チフテリア」の流行を防ぐ爲には「シックテスト」と申す方法を行ひ、其陽性なる者には豫防注射を行ひます。腸「チフス」に於ても、豫防注射は歐洲大戰以來大に功を奏して居りますが、「チフス」に於ては所謂「ワクチン」で、「チフテリア」に於ては血清であります。

結核の豫防には、喀痰の取締を嚴重にし、命に負くものは罰金を取ります。又輕症、重症の病院の設備、「サナトリアム」、小兒結核の豫防等、各方面より「ポスター」等にて公衆に如何に結核の危險であるか、又如何にして豫防し得るかを示して居ります。

‖サラナックレーキ‖と申處には結核療養所の一村がありまして、此所の醫者、看護婦。商人等は皆一度結核に罹るか、又は其家族に結核のある人等で出來て居ります。

市の公衆衞生の爲には、公衆衞生看護婦と申す者が出來て居ります。此特別なる敎育を受けたる看護婦には、各々其係りがありまして、結核、腸「チフス」、「チフテリー」等の係りが別なるのみならず、妊婦産婦の係、哺乳兒、學校前の小兒、學校の小兒等各々其係りが別であります。

此公衆衞生看護婦を敎育する學校にては衞生學、豫防醫學、細菌學、家政學、實際社會學、精神衞生等を敎へ、市町村工場、學校、家庭等に於て其實地を敎へます。

其他病院の外來患者に就て其家庭の狀況を問ひ、經濟狀態を調べ、一々之れを記載し、保存し、他日の參考に供する樣に出來て居りますから、何町何丁目何番地の誰の家の家族は幾人、內病人何人、經濟狀態は如何等は皆是等の公衆衞生看護婦によりて調べられて居ります。

本邦に於ても段々個人衞生より公衆衞生に移り、全國の罹病率、死亡率等の減少して幸福なる國家と成らん事を祈ります。

室內掃除法に就て

醫學博士　佐々木秀一述

室內の塵は何處より發生するか

人が室內で、單に坐つたり歩いたりするだけでも、著物の裾が切れ、膝が拔けて、その著物の纖維が磨り切れ、眼に見えない細かな塵となります。若し人が立働きを盛んにすればする程、その塵の發生は著しくなります。殊に子供が跳びはねれば可なり多くの塵を散亂させます。

然し一般の人は、斯かる眼に見えない少し許りの

塵は、大した重大の事としては考へない風習がありますけれ共、布片とか紙片などの大きな眼に見える塵よりは、斯かる眼に見えない纖維の塵が、衛生上重要な事は申す迄もなく極めて大切の事であります。

室內の塵は、主として著物の纖維から發生しますけれ共、その外、座蒲團を動かしても發生し、殊に夜具を取扱つた場合は、甚しく發生致します。此の眼に見えない纖維の塵を眼に見える樣にする方法は、日光の當る縁側で著物を振つて見るのが一番良いでせう。是等衣類の外に、紙類を取り扱へば同樣に紙の纖維の塵が、可なりに飛散するものでありまして、淺草紙を若し日當のよい所で揉んで見ると、そこから飛散する塵の甚しいのに驚く位で、其塵を強く吸ひ込みながら鼻をかむのは危險だと危ぶまれる程であります。

以上述べました塵は、如何なる家庭でも、日々必ず相當に發生するものでありますが、何か職業に關する仕事場例へば布類を多く動かすとか、紙類を多く取扱ふとか、乃至は粉類を多く動かす所は、尚更著しい塵が飛散するわけであります。

以上は室內に發生する塵でありますが、その外、道路から吹き込んで來る砂塵なるものは、仲々甚しいものでありまして、殊に風のある天氣の日では、著しいのであります。室內の飛塵は要するに是等の總てをひきくるめたものであります。

塵の字の源

塵と云ふ字は土の上を鹿の群が通つて砂塵をたてる形で、「ほこり」は「飛び擴がる」意味だそうで、埃も「散る」から來てゐて、孰れも飛塵の意味ですが、塵埃と云ふと兎角、塵を寄せ集めた肉眼的の塵芥のやうに心得てしまいます。「ごみ」は込み〳〵した雜物の事であり、芥は粗腐の掃溜であります。斯く飛塵は兎角に注意されずして埃取器に這入る塵塊ばかりを考へますし、又た同じ塵でも砂塵の方ばかりを考へずに纖維の塵の方にも意を用ふるやうにされた

いものであります。

室内飛塵の有害

所が是等の塵が、如何なる不快な影響を及ぼしますかと云ふに、先づ第一に塵の多い室内で働くと、衣類が汚れます。是等の飛塵が、土或は色々の植物繊維であるにしましても、濕つた所に附著しますと、色のついた汚れとして目立ちます。黒くなるのは煤の塵が一番で、次が泥の塵ですが、繊維の塵も是等と混つて一程度は色を表はします。殊に汗其他の水分を含める所には、殊によく附著しますから、白足袋は、黒くなりますし、白襯衣も黒くなり、身體に附著しましたものは垢となり、障子が黒くなり、疊や壁も何時とはなしに黒く汚れます。是等を總括して申しませば、衣服、家具、家屋が、塵のために、段々汚れて來ると云ふことです。衣服、家具、家屋は例へ汚れても、美観を損する許りで衛生上には差支がないと致しましても、皮膚、毛髮等の汚れは好ましくありません。然し是等は入湯したり、洗髮したりすれば、再び、もとの通りになりますので、未だ良いとしましても、唯非常に困るのは、飛塵を吸入しまして、呼吸器病の原因或は誘因となる事であります、之が塵の最も恐るべき有害作用でありますが、その有害の結果が、普通、直ぐに目に立たないため閑却されて居ります。然し統計上、飛塵の中に働く職業を有する人に、例へば、印刷職工、石工、紡績女工等には、呼吸器病は著しく多くありまして、殊に、肺結核で死亡する者の多い事は、著明の事實であります。此の如き塵の中の職業的生活でないとしましても、一般家庭の中で飛塵の多い家には、一般に呼吸器病患者の多い事は、爭はれぬ事實であります。故に家屋内の衛生には是非とも飛塵を閑却してはならず、また呼吸器病殊に結核病の豫防にはどうしても塵の生活を改良しなければ徹底しない譯であります。

室内掃除の目標

室内の塵埃を取除く方法を室内掃除と申します

が、兎角一般の習慣としては、眼に見える程度の塵を取り除く事を掃除と心得、眼に見えぬ飛塵に注意する傾向の少いのは、甚だ殘念の事と思ひます。呼吸器病豫防の意味から申しますと、是非とも飛塵の掃除を眼目とせなければなりません。尙ほ掃除ばかりでなく、同時に飛塵の發生を少なくする事にも注意すべきことであります。

掃除法の二大別

飛塵を取り除く意味の掃除方法は、甚だ巧拙と繁簡との別があります。之を不完全でも良いから、簡略に且つ少しの時間で取り扱ふとならば、箒と「塵取り」とだけで濟みます。又之を完全に且つ理想的に淸掃する段になりますと、高價の器械と、多數の人手と長時間とを要し、而も未だ完全でないと云ふ樣な事になります。然し掃除方法を公衆衛生上から見ると二大別する事が出來ます。第一は塵を主として屋外に掃き出し、掃出せぬ部分だけを屋内で適當に始末する方法で假に「掃出し掃除法」とします、第二は、屋外には一切塵を出さず、全部屋内で奇麗に取り除く方法で之を「掃取り掃除」と致します。

公衆衛生上、不都合な掃除法

日本の一般家屋は、主として箒を以て掃き出す方法を行つて居りますが、又日本家屋の構造も緣側や窓や庭の關係も此方法に適するやうに出來て居りまするがために、掃除の際は、四方を開け放して、風の方向に掃き出すと、大部分の飛塵は庭に向つて掃き出す事が出來ます。而かも方法が簡略で時間を要せず、所謂日本式の特長を發輝してゐます。然しながら、近來は和洋折衷の家屋が增して來まして、家の構造上掃き出し式に適しない場合が多くあります。卽ち風の吹き込む方向に掃き出さなければ掃き出せぬ室や、或は、窓の高い室等では所謂掃き出しは行はれませんで、强つて行ふと却つて塵を室内に散亂する事になり、掃除の效果がないのみならず、却つて有害の結果となります。殊に二階建、三階建で掃き出し式掃除を行ひますと、下を通過する人々

の頭上に塵を散亂する事になり、市街地では將來嚴禁しなければならない事です。單に平家建が相接して居る場合でも、隣家に結核患者があるとしますと、掃き出し掃除は隣家に甚しい危險を及ぼすと云ふ事になります。之は時に依りては隣家に抗議を申し込んでも差支のない事となります。

掃出式掃除方法

この掃除法をやりますに就ては、是非とも風を利用し、風の吹き出る方向に向ひ、日本流の箒(卽ち穗の長いもの)を以て適度の力で掃き出します。先づ所謂「ハタキ」を以て高い所に溜つた塵を飛散さして、風を利用して外に吹き去らせます。次に疊や板張の上をも箒を以て掃き出します、此の場合も勿論風を利用します。此の方法は割合簡單でありまして、風さへあれば大變有效でありますが、前述の樣に周圍の關係を顧みなければなりません。且つ通風の惡い所では殆んど無效であります。

掃取式掃除方法

この掃除法の場合は「ハタキ」を、なるべく用ひない樣にして掃き取ります。側面や高所の塵は靜かに床の上に沈著させ、掃く場合は成るたけ塵を浮き立たせない樣に靜かに掃きます。故に風の來ないやうに窓を閉ぢなければなりません。箒も穗の短い、例へば棕櫚箒の樣なもので極く靜かに塵を所々に集めて別々に掃き取り、掃除が濟んだ後で暫く窓を開けて幾分の飛塵を外に出す樣にすべき筈で御座います。

吸取掃除法

吸取掃除法をやるには、眞空掃除器(電動力で塵を袋の中に吸ひ取る仕掛)を用ひますが極めて便利且つ理想的のものであります。然しながら、種々の缺點もあります。卽ち此の掃除器は高價な事、國産品でない事、晝間電氣の設備を要する事、掃除に比較的長時間を要する事、及び音響を伴つてうるさい事等であります。其結果、普通の日本家庭では一般に應用されるには到りません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

掃き掃除の上で改良を要する點

以上述べました理由に基き、現在一般の家庭で行つて居る掃除法即ち無意味に「ハタキ」をかける事、風の利用を考へないで掃き出す事、及び掃き取り掃除に際して室を閉ぢない事等は注意を要し又改良を要する點であります。要するに掃出しか、掃取りかの區別を良く考へて掃除をしなければならない事で御座います。

以上は主として掃く事に就て述べたのですが、次に拭く事に就て述べませう。

拭き取り掃除法

この掃除法は、乾いた布で拭くのと、濕つた布で拭くのとあります。「からぶき」は日本の一般習慣では、床の間、乃び器具等に又時として緣側、疊等に於て行はれるのでありまして、殊に木質部の表面を滑澤に拭き清めるには缺く可らざる方法であります。故に多少裝飾にも關する事なので、其爲には時間と勞力とを惜まず手先きで一々叮嚀に行ふより外、仕方がありません。然し緣側、疊の樣な面積が廣くて、美觀の上よりかは寧ろ衛生的意味の方に重きを置く場所は、時間の經濟上、乾拭よりは水拭きを行ふ事になります。何んとなれば、濕つた布は乾いた布より塵の吸著力が強く、淸潔にするためには數倍の能力があるからであります。緣側或は板敷の場所を、單に箒で掃き、或は眞空掃除器で吸ひ取つても、微細な塵、殊に土塵は決して完全には取れません。雜帛掛で水拭きをして、初めて完全に拭き取る事が出來ます。此の際乾いた布で拭くには極めて多くの手數を要しますので、西洋式の住宅では、金の錘を附けた掃除器に布を卷きて何回となく磨するを常とします。

水拭法で改良を要する點

雜帛掛の方法と致しましては、日本一般の習慣として、「バケツ」一杯の水に黑い雜帛一枚を用ひます。此の方法は最も簡略な便法でありまして、時間並びに勞力上、最も經濟的でありますが、決して

理想的のものではありません。かゝる方法は御承知の如く板の間や疊を黒くします。黒くすると云ふのは微細な塵が拭き取れずに、其處に塗りつけてあると云ふ事であります。故に衞生を重んずる意味におきましては、掃除水は幾回となく惜まず取り換へる事と、用ふる布はなるべく白いものを用ひて故意に塵を眼にたゝせる事、雜巾はなるべく堅く絞り水分の少い布で拭くと云ふ事の三ケ條の面倒を惜まない様な習慣を養成するの外仕方がありません。

自働掃除器

　この際私の考案しました自働掃除器を用ひますと、以上の三ケ條を完全ならしめるには至極便利であります。その上汚れた水で手を汚す、そのために多くの女中に見ます「ヒビ」「アカギレ」の發生を豫防し、又雜巾掛のために四つ這ひの形とならず、從つて衣服を汚す恐れがなく且つ掃除時間を著しく短縮する事が出來ます。

油拭掃除法

　これは板の間や「リノレウム」の上に行はれる便利な方法であります。油又は「クリーム」は、水よりかも粘著力が數倍多いために塵を吸著又は沈著するには大變有效であります。然しながら、勿論素足、或は足袋の儘歩く場所には行ふ事は出來ませんのみならず、板敷に油を塗りましたものは塵の沈著をよくし、之を浮き立たせないのには好都合である代りに、塵をこびり著かせるものでありますから、適當の方法で更に之を取除く必要がおこります。故に住宅內の「リノレウム」では薄く油を塗りました上に乾燥摩擦を行ひます、丁度靴磨きと同じ形式に、之を滑澤にすると云ふ形式を採るのであります。豆腐の「カラ」で磨くのも、要するに極うすい油拭きと同じ意味であります。

掃除の回數に就ての注意

　以上述べましたのは一回の掃除に就てゞありますが、掃除本來の目的に向ひましては、掃除の回數と云ふ事を考へなければなりません。一回の掃除が隅

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

から隅まで如何に完全に行はれましても、塵の發生原因が多い場合には、二時間乃至三時間、甚しい時は一時間で既に塵が多量に出來て不良の結果を來します。故にその場合には一回の掃除が如何に完全でも殆んど意味をなさぬ事となります。それよりかは、不完全で而も簡略な掃除ながら回數を多くした方が結局合理的であると云ふ場合が可なり多いのです。殊に家庭におきましては、子供の遊戯室及び人の多く出入する室に於て必要であります。私が自働掃除器を考案して使用を始めましたのも、診察所の掃除と云ふ事から出發致しました。二十人乃至三十人の人が、著物を著換へる所を、この掃除器で拭いて見ますと、まるで毛布を剃つた樣な塵がとれます。從つて二時間位で一回づゝ掃除を行はねばならぬ事にしてゐます。斯く頻回の拭掃除をするには自働掃除器のやうなもので、便利に且つ簡單に容易く掃除出來るので無くては、實行が困難であります。

（完）

外科手術と恐怖

醫學博士　原　勇三　述

我邦で昔外科と云へば矢創や刀創の手當の外には專ら膏藥を塗るだけの事であつた。西洋でも矢張同じ樣なもので、床屋が兼業的に剃刀で根太を切る位のところに過ぎなかつた。それが少しく技術が進んで來ると、患者の肢脚を壓へつけて、屠獸の如く叫喚するのもかまはず殆ど暴力的に施術するやうになつたので、外科醫者と云へば世人は皆震ひあがつたものである。これは尤な次第である。それから麻醉藥が發明されて、麻醉中に疼痛を感ぜずに手術されるやうになり、技術も漸次進歩して來たが、往々麻醉の爲の死亡者を出すので、矢張恐怖された。然るに今度は種々の局所麻醉法が發明され、全身麻醉法も大に改良を加へて、今日に於ては如何なる手術でも殆ど危險なく疼痛を感ずることなく行はれる域に達して居る、加之ならず外科手術最近の進歩は實に目覺しいもので、以前に在ては不治の症又は必死の病とせられたものも容易に治癒せしめられることが、この位多くなつ

たかわからない。開腹術の如きは何でもない普通の手術となり、二十年程前までは殆ど手を下すことの出來なかつた胸廓や頭蓋の内までも活人劍が働くやうになつた、而かもそれが全く無痛に行はれる時代となつたのである。診斷の確實なる以上手術を行つて少しも損はない。又何等それを恐れる理由は無いのである。萬一不幸の出來事が起るとしても、それはほんの怪我で、汽車、汽船乃至電車、自働車などの故障で起る怪我よりは比較にならぬ程稀なことである。然るに世間の人々が平氣で汽車や自働車に乘るのに、それよりは遙に安全な外科手術を怖れるのは、全く今日の外科手術の進歩して居る實際を知らないからのことに過ぎない。それでかね〴〵本誌上に於て一度現代の外科の實況を何人にもよくわかるやうに說明して見たいと思ふてゐた所が、その爲には餘り簡單ではあるが、偶々原博士が實驗醫報の坐談欄に「外科手術と恐怖」と云ふ題でお話のあつたのを幸、こゝに轉載を乞ふて本會會員諸姉の御參考に供する次第であります。（編者識）

日本に於ける醫學の進歩の目醒ましいことは、余輩が茲に改めて說く迄もなく周知の事實である。唯だ外科醫から見て、歐米のそれと甚しき懸隔のあることは、手術患者數が遙かに少數な點である。試みに人口十萬に足らぬ瑞西國ベルン市在の大學の手術材料を、人口二百萬に餘る東京市在の東京帝國大學のそれと比較して見ると、彼れの著しく豐富なるに比して、これの甚しき遜色あるのを見て、何人も驚異の眼を瞠ることであらう。これが日本人が外科の病氣に罹らぬからでないことは云ふ迄もない。その由て來る原因は色々であらうが、日本人一般の外科手術に關する知識が、今日でも極めて幼稚であつて、外科手術に伴ふ疼痛とか危險とかに對して不必要な程度にまで恐怖を持つて居ることが、最も大なる原因の一つであらうと思はれる。醫學の内でも外科の進歩は比較的近來に至つて長足の發達を遂げたものであるから、十年以前の外科は既に今日の外科ではない。從つて昔時の外科知識を以て今日の外科を律せんとすると甚しい誤りが起るのであ

る。例之ば昔時は大手術と云へば殆んど死と同様に解釋せられて居たが、現今では如何なる大手術でも適當な時期に適當なる外科家によつて行はれるならば、手術自身のために生命を失ふやうなことは殆んど無いのである。『手術は成功せり、患者は死せり』と云つたのは既に一と昔も二た昔も前の昔噺に過ぎない。

又外科手術の際、患者の最も恐れるのは疼痛であるが、麻醉法の發達によつて、全身麻醉は殆んど危險無しと云つても差支がない。又局處麻痺藥も著しき進境の結果、殆んど無痛的に而かも何等の副作用なしに行ひ得る。現今では注意して注射すれば種痘をするとき位の疼痛だけで手術の出來る場合が多い。痛いのが恐ろしいので種痘しない人があつたら、誰人でもその臆病を嘲笑するであらう。然るに同じ位の疼痛に過ぎない外科手術を恐れ、時としてはこの恐怖のために可惜生命を失ふ者あらば、これ亦嘲笑に値するものでなくて何であらう。余輩の許で手術する患者の多數からも『先生痛く無いやうに手術して下さい』といふ哀願を折々聞く。而かも手術後に『どうだつたか』と問ふと、必ず『思つた十分の一も痛くなかつた』と答へるのを常とする。余輩は醫家一般の努力によつて、手術患者が豫じめこれ等の不快にして無用なる恐怖から免かれ、適應なる場合には安心して而かも進んで手術を受ける迄に進歩せんことを切望して止まないものである。

はやり目

莊司秋次郎述

俗にハヤリメと云ふのは、急性加答兒性結膜炎と總稱される眼病中の流行性のもので、時々一家内又は一部落に多くの同病者を出すものであります。

東京では昨今これが又流行しかけましたから、この機會に於て少しくハヤリメのお話を致したなら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ば、或はお爲になる事もあらうかと思ひます。

ハヤリメと云ふのですから、傳染致します。卽ち眼病人の分泌物の中に病原菌が居るので、手拭や手から他に傳はる。その病原菌も決して一種のハヤリメ菌と云ふやうなものではない、種々の細菌によつて眼病が起る。肺炎菌や實扶的里菌もハヤリメを起す、その他コッホ、ウィークの菌だとか、モラー、アクセンフェルドの菌だとか種々の細菌があつて、その時々の流行に於てその中一種が主となつて仇をするのであります。

それであるから、單にハヤリメと云ふても、その流行を來して居る病原菌の性質に依て眼病の模様が異なる。同じ病原菌でも他の細菌と協同して働く時は又眼病の樣子が異なり、その流行の時期によつても相違があります。從て療治もそれ〲異ならなければならぬわけであります。

かういふ譯でありますから、何これはハヤリメだ、硼酸水で眼を洗つて置けば宜しい位では、すみません。すまぬのみではない往々取返しのつかぬ過をしでかすのです。

今その一例を擧げて見ますならば、昨今東京では義膜性結膜炎と云ふハヤリメが流行してまゐりました。これは概して小兒に多いハヤリメで、眞正のものは實扶的里菌が病原となつて起り、眼瞼結膜、卽ち眼瞼の裏が紅く腫れて泪が出る、目脂が出る、眼球結膜の處も浮腫る、而して二三日たつと實扶的里の時に咽頭に出來ると同樣の義膜が眼瞼の裏に出來て、これを拭取らうとすると血が出る、此頃には小兒の眼瞼の腫脹が甚しく、素人には迚も角膜の狀態などを窺ふことは出來なくなり、そのうちに眼瞼の皮膚も紅く紫色を帶びて硬くなり段々色が黑く不潔になり、小兒は熱を出し不機嫌になり、衰弱して來て、遂には眼瞼は潰爛れ角膜は潰瘍を生じて破れ、眼球と眼瞼が癒著と云ふ樣な慘憺たる結果にもなればなるものであります、然しこれは眞の實扶的里性結膜炎の重症の時の樣子でありまして、さう頻

繁にあるわけではなく實扶的里の流行時に眼にも來ることがあると云ふ位のものですが、今申すところの義膜性結膜炎或は假性義膜性結膜炎と云ふのも、その病原菌は異つてゐても、矢張實扶的里性結膜炎に似たもので、只その症狀が幾分輕いと云ふに過ぎない。又その分泌物を檢査して見ると實際實扶的里菌の居ることもあつて、輕症の實扶的里性結膜炎と云ふべきものもある。併し普通は連鎖狀菌とか肺炎菌とか云ふものが、この急性の結膜炎を起すことが多いのであります。

その症狀は凡そ前に述べた實扶的里性結膜炎の輕いものと思へば宜しい。これが何處からか傳染する。眼が赤くなり、腫れて眼脂も多いが、ハヤリメと自分で診斷をつけると、至て平氣で、例の硼酸水で洗つて、賣藥の目藥などを點眼して居る。勿論それでも治癒することはある。併しいつもさうはいかない。最初に收斂性の點眼藥を用ゐる爲に却て治癒を妨げ、硼酸水の罨法で效よりも害の多いことがある、即ち溫罨法すべき時期に冷罨法を行ひ、冷罨法を必要とする際に溫罨法を行つて結膜治癒機能を妨げ或は角膜の潰瘍を助長したり、眼瞼に濕疹を起したり、甚しきは氷罨法を濫用して小兒の眼瞼に壞疽を起したりする。それも大人ならば、餘り治癒らなかつたり、疼痛が戟しかつたり、角膜に潰瘍が出來て來たりすれば大抵醫師にかゝるが、小兒となると眼瞼が腫て分泌物が多くなれば、角膜の模樣などを窺ふことは困難になるから、矢張硼酸水で分泌物を拭く位の事にして置く。ところが一週間十日と過ぎて猶は治癒らず、益々小兒が衰弱して不機嫌になり、眼を開かない。そこで止むを得ず眼科醫の診察を受けると、既に角膜の眞中に潰瘍が出來てゐて、その後に虹彩が癒著いて、何とも致し方がない、生れもつかぬ盲人となり。幸そこまでには至らずとも、その潰瘍の後に翳が殘つて永く視力を損するこ云ふやうなことになる。或は何時の間にか瞼球癒著症と云ふて眼球と眼瞼結膜とが癒著いてしまつて居

る。これは義膜性結膜炎には特に屢々見受けるところである。而かも大抵親は知らずに居る。尚ほ硼酸水と賣藥目藥療法で治癒したが、數日後になつて復た少し惡くなつたからと云ふて來る人を診察して見ると、なる程急性結膜炎は、どうやら下火になつたが、將に慢性結膜炎に移りつゝある、それが偶然塵埃や風の爲に或は飲酒、夜深し等の爲に症狀が增惡したので、又前の樣な劇しいものになりはせぬかと聊か心配になつて診察を受けるのである。これが小兒なれば大抵そのまゝにされる。斯樣にして所謂慢性結膜炎になると、自然それに慣れて餘り苦痛を感じなくなる。從て構はずに置く、從て全治しない、結局殆ど一生涯慢性結膜炎患者として、いつも目がしよぼ〳〵して、僅かの刺戟に依ても容易に目が澁くなつたり、赤くなつたり、目脂が出たり、霞むだり、頭痛がしたりする人となる。これは決して稀しいことではない、否非常に多いものであります。

斯樣なわけで、**ハヤリメ**と云ふと兎角輕視する傾があるけれども、俗に**ハヤリメ**と稱するものゝ中には極めて危險な眼病もあり、家族又は他人にも傳染せしめる虞があり、自分にも他人にも氣のつかぬ瞼球癒著症とか慢性結膜炎とか云ふものを貽して、全治したつもりで平氣ですましてゐる樣な事が多いから、馬鹿にして手療治をしない方が善い。斯う申すと、自分が眼科醫として、人を嚇かして廣告でもする樣で甚だ心苦しいが、實際下療治をして儉約するつもりであらうが、その實何ともお氣の毒な損害を崇むる人々の多いのを見て、敢て忠告をする次第であります。

尚ほ眼科醫にかゝると、何時までも未だ全治しないと云ふて非常に長い間ひつぱられるなどゝ云ふ向もありますが、實際如何にしても非常に長くかゝる眼病がある、例へば**トラホーム**の如きはさうである。併し必ずしも何れの眼病もさう長くかゝるものではない。尤も俗にも『目の療治の一週は七十五日』

と云ふが、目は非常に過敏な處で、極鎖細なことでも苦痛を感ずる、又眼科醫は内科醫などの如く肝臟とか脾臟とか外から見ることの出來ない場所とは異つて、何處から何處まで細かに直接に檢査することが出來るので、一回の注射で疼痛が止つた、卽ち治癒したと云ふ樣なわけには行かない、目で見て實際恢復しない以上は全治したと云ふことは出來ない。又外科醫の如く病氣のついた手や足を切斷して直に治癒した云ふこともむづかしいので、兎角完全に治癒したと云ひ切る時期の遲れるのは當然の事である。故に縱令完全の治癒を得るまで通はぬにしても、なるべく早く診察を受けて、せめてはその眼病の治療方針だけでも專門醫に聽かれんことを冀望する。眼病の治療は最初に適當な治療を行ふと行はざるとでは、恢復の上に非常な相異を來すもので、唯一日早いと遲いとで目明と目盲との差を生じ、少くとも治癒上一週間乃至一箇月も遲速を生ずることが多いのでありますから、殊に流行性眼病の多い時には、一刻も早く適當の治療を受けることが必要と思ひます。

育兒

コドモと果物

醫學博士　三田谷　啓　述

果物は**コドモ**の保健上極めて重大の意義を有するものであります。ところがその果物を極めて無意義に用ひて居ることがあります。乳兒が牛乳、煉乳、粉乳などで養はれて居る場合には加熱のために**ヴイタミーン**Cが減つたり又消失するのです。

ヴイタミーンCが消失すると乳兒は**バルロー**氏病(壞血病)になるのです。その病狀は貧血、不機嫌、疼痛を起します。骨の端には肥大した部分が出來て

居る。又皮膚、眼結膜、歯齦等から出血するのであります。そこで人工榮養のコドモに對してはヴイタミーンCを補給する目的で果物を與へることがよいのです。例へばオレンヂ、レモン、橙、九年母、苺、林檎、蜜柑、葡萄等の汁を壓搾して得る液を用ひるのです。その液汁に同量の水を加へ更に砂糖を附して一日に二、三回程乳兒に與へます。その一回の量は茶匙に一杯位でよろしい。

既に幼兒になりますと、生の果物をそのまゝ食べさしてよろしい。果物はヴイタミーンBとCを多く含んで居ます。故に幼兒に果物を與へることは消化をよくし、食慾を進ませ、便通を調節することが出來ます。

乳兒に與へて都合のよい果物はバナナ、イチゴ、オレンヂ、レモン、葡萄、蜜柑、梨子、林檎等であります。果物は新鮮なものを選ばねばなりませぬ。

今果實の成分とヴイタミーンの含有量を左表に示します、

	蛋白	糖及澱粉	酸	木纖維	ヴイタミーン a	ヴイタミーン b	ヴイタミーン c
バナナ	一・一八%	二三%	—	〇・三%	+	+	+
九年母、レモン、蜜柑等	〇・七%	五、五%	二・四%	一・八%	−	−	+++
葡萄	〇・六%	二六、三%	〇・八%	三・六%	−	−	+
林檎	〇・四%	一三、%	〇・八%	一・五%	−	+	+
覆盆子	〇・四%	四、五%	一・四%	七・四%	−	−	++
梨	〇・三%	一二、%	〇・二%	四・〇%	−	+	−

右の表中、ヴイタミーン含有量の+は適量、+++は多量、−は含有せぬもの

果物は熱を加へずに與へる方がよい、殊にヴイタミーンCは熱に對して變化し易いのです。果物の中でもコドモに與へない方がよいものがあります。例へば梅、桃、巴旦杏、枇杷等であります。

子守の話

醫學博士　竹内薫兵述

子供の育て方に關して大切なものは子守であるから、此事について簡單に御話して置きます。我が國では乳母と子守とは兒童養育上、或は敎養上にも極めて大切であるが、あまり注意を拂はず。殊に子守に就いては迂濶に考へてるのは非常な間違であると思ふ。子守のために惡習慣もつき、惡い病氣も起こり、ひどい怪我もし、或はせずに濟むものである。

惡い子守は病氣の源

子守自身に病氣があつて、それが子供に傳染する事もあるが、それで無くとも子守は公園や、寺や神社、家屋建築所の廣場などへ行くもので、其處には外の子守達も子供を連れてやつて來る。そこで百日咳の治り切らないのや、痲疹の熱のあるのや、肺炎になりかゝりの子供なども其中に交つて居る。そこで御互に病氣は傳染するし、又無垢の子供は傳染されるのである。それから又乳母にもある癖であるが、子守は子供の泣くのを厭うて、泣かすまい〳〵とする結果、飮食物を規則正しく與へない事がある。表面規則正しく與へる樣な顏をして、其實泣けばやり、むつかれば與へるといふ事實をやつてる事が隨分多い。其れが病氣の原因となる事は勿論である。又子供の年齡に頓著なく自分の食べてる南京豆でも鹽煎餅でも子供の欲しがるまゝに與へて子供が其の結果病氣となる事もあるし、子守自身の立ち話の都合で、寒風に吹き曝されながら一時間も脊負はれて居て肺炎にかゝつたなどの實例もある。

恐ろしい實例

此外子守から直接に病氣が傳染して、子供はとう〳〵死んだ例や、疥癬の傳染した話や、肺病になつた例は數限りもなくある。唐澤博士の經驗だといふ話を聞いた事があるがそれは或る田舍で子守が子供を常に駄菓子屋へ連れて遊ばして居たために、蜜柑を袋ごと澤山喰べさせて、子供は腸閉塞又吐糞症と

いつて、腸が塞がつてしまい、遂には腹が太鼓の様に張つても大便は少しも出ず、吐く事は止め度もなく吐いて、遂には糞まで吐き、結局外科の手術も間に合はず、死んで終つたそうです。無智なる者、責任の考無き者、誠實でなく、同情心なきものは如何ともしがたいとはいへ現今の子守は餘りといへばひどい。何とか方法を講じて精神、智力二つながら進ませる様な仕組が欲しい。子守學校の如きは頗る手緩いと思ひます。然し行はないよりましかも知れませんが私の考へではこれは學校などにしないで、各家で主婦が自ら子守を感化し、教養するが最良の事であると思ふ。それが出來ない様な主婦ならば、子守の行に對して不滿を抱く前に先づ自らを教養する事に努めねばならぬではあるまいか。

面白い物語

一體主婦の不在中といふものは、子供に種々の事の起こるもので、ともかくも、日日の子供の事故の少いのは、子守にのみ託してあるとはいふものの、主婦の監督のあるためといふ事が判る。子供が泣くからといつて、菓子、それも年をも身體をも考へないで、饅頭、せんべい、あんぱん、などを與へ、甚しいのになると、「らつきやう」梨子などを與へる事のあるのは、主婦の留守の時が多い。何も食べさせない筈の子供に、灌腸して見たら、小豆の皮が澤山出て來たり、澤庵が其儘出て來たりして驚く事がある。子守にはよく〳〵注意しなくてはならぬ。

茲に「小兒養育氣質」といふ本がある。安永二年、永井堂龜友の著で、今年大正十一年からは百五十年程前に出來た本であるが、其中に乳母子守の實情や心持が、餘程よく現はれてる章があるから、大略述べて見たいと思ふ。此本は博文館發行の氣質全集の中にある。

さても都、中京の邊に甘崎屋小左衞門といふ絹布商人があつて三十二歳の今年までに二人の子供を持つた。兄は五つ、弟は三歳になつた。兩親の寵愛は並々でなく眼の中へも入れたいばかり、小佐衞門の内儀は未だ二十三といふ若盛であるところから、宮芝居が好きである故、折々神詣、寺參りの序には、子供芝居へ子供を乳

母に抱かせて連れ行く事もあつたのであつた。ところが子供よりも乳母がいつとなく芝居功者の見物好になり、明け暮れ弟の三つになる子供を抱いては芝居見に行く樣になつた。それも外で守して來るといつては子供芝居へ入り、よい時分に戻つて來て、芝居へ行つたと僞り通して居た。子供は未だ三つであるから芝居見たつて何の面白い事があらう、ぐず〳〵泣き出せば、見物からも木戸からも、しつ〳〵とか東西東西とかいうて叱られるされば、とて其儘芝居中途で歸へるのも殘念さに千鳥、松風や切砂糖、猫の糞と異名を取つた一文菓子(駄菓子)を袖に入れ置いて何度でも泣く度に食べさせ、それをうばつて居る所へ、乳を飲ませて頭をおさへて懷へねぢ込みて芝居を見て居り、又或る時は、でのあるやうにと手毬程の琉球芋を持たせて置きなどして多量になり、どうしても泣き止まぬ時は是非なく、歸宅する其途中でもこの子は聞き分けがないとか、泣き蟲だとか云つて搖振倒し又はお尻をつねつたりしたものである。

重い消化不良

ところがどうしたものか、是れ迄は嚔一つしなかつた子が三月の節句過ぎから夜々熱が出て兎角鼻をひねり腹ばかり大きくなつて、手足は絲よりも細く痩せ、只いじいじして來て「乳母やうまうまと云ふより外には舌が廻らない故、如何な樣子が判らず、乳を吐いたり吐き氣を催したりするやうになつた。今日で云ふ重症の消化不良の容體である。兩親は固より一家一門大騷ぎとなつた。考へて見るとこれ迄は乳母に物を喰べさせるにも食物養生記を毎日見ては與へて居り、子供に蟲おさへの丸藥は一日も缺かさず每夜寢る時は功者な按摩を頼んで揉ませて居る程であるに、これは、まあどうした事じや乳母や外で何か食はせぬかと問へば眞顔になつて怒り此大事なお子樣に何むざむざと上げる物ですかと眞赤になるに、これはこちらが不調法、赤い顔して腹立てるも律氣な乳母の氣からは無理でないと、主人も乳母を信じ切り、子の病中は乳母を立腹させ、乳でも少なくしては尙更ら難儀な事と思ひ直して機嫌を取り、若しやと內證で丁稚子僧に探りを入れて見ても既に日頃から乳母から鼻藥の廻つてる事とて乳母の惡い樣の事はいはず、歷々とお醫者方を賴んで診察を受けても、是は生れ付いての蟲だとか胎毒だとか云ふのみで、乳母の食べさせた物の惡いことはいはぬ故、乳母こそ大安心、お子樣の病氣が苦になつて飲が不味いと云つて飲每に小言をいへば、主人氣の毒がりて、氣をつけて、お藥など特別にして與へたとの事である。

痩せこけたが金もうけ

子供の病氣の方は、元來が無病の親の子で、丈夫な體質を持つて生れた故か、百日ばかり經て段々と快方に向ひ、九人目の醫者に

かかつた時、もう大丈夫、安心と診斷されたので、一家一門打寄ての大喜び、いよ〳〵病氣全快祝となつた。さても此度は乳母が非常な骨折、誠に氣を揉んで心遣ひで顏が痩せた。それは子供全快祝だとて結構な小袖一つ。金百疋の心付。乳母が里へも何かやろがよいと主人が内儀へ云ひ付けて又野毛綿二反に鰹節五つ。さても仕合せは此乳母、心遣ひで顏の痩せたは丁稚子僧に鼻薬は與へては置いたが、何な云ふも子供の事、今日はしやべるか、明日暴露はしないか、毎日の芝居見物の中に誰か知つた人は無かつたかと百日ばかり心配で、痩せこけた錢もうけ、六日の祭前にほつと溜息づいて、蚊のくふのも厭はずに、氣をゆるして寢相惡くも寢て居る迄の乳母殿こそ大平樂。

以上が此物語の梗概である。

これは今から百五十年も前に出た本で而かも一小説に過ぎないが、これに似た事實は大正の今日でも所在腐る程ある。ほんのありふれた一例に過ぎないと思つてよい。それでも注意すべきである。

夏季衞生上の三大敵

目下梅雨期中は、濕氣が多く而かも氣溫の變動が著しいので、神經系統の薄弱な人や僂麻質斯のある人などは苦惱する。又衣食住凡て黴に祓はれる。不熟の果物に由て子供等が消化器を傷めると云ふやうなことが目につくが、衞生上特に注意すべき程の事もない。然るにこの梅雨があがつて、いよ〳〵本當の夏になると、衞生上大に注意を要する種々の事が多くなる。その中で互に聯絡をとつて居る三大敵があつて、これが主として夏期の衞生を脅かすのである、その三大敵とは曰く暑熱、曰く傳染病、曰く有害動物これである。吾人は是等に對して如何なる衞生的防禦乃至策戰計畫を立つべきであらうか、可

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

及的簡單明瞭を期して一言する。

暑熱は如何とも致し方がない、出來得るだけ涼しい様にするだけの事で、山に遁るゝも好し、海に行くも好からう、又淨室に靜坐するも可ならん、但し扇風機をかけて氷水を飲むと云ふ流儀の納涼法は非衛生的で賛成することは出來ない。尚ほ山間に暑を避け、海濱に浴するも、その地理、その體質乃至健康状態に依て利不利があるから、然るべき醫師に相談して熟考の上選擇するが賢明なやり方である。

次には傳染病、特に虎列拉、赤痢又は疫痢と云ふやうな消化器を侵すところの猛烈なる傳染病が多くなる。これに對する用心如何と云はば、此種の傳染病は何れもその病原菌を腸内に取入れるところから發するのであるから、それ等の病原菌を口より通過せしめぬ様にさへすれば大丈夫である。それにはどうするとならば、萬一飲食物の中に含まれ或は附著して居る病原菌も總て滅殺される様に料理して飲食する、尚ほその飲食物を取扱ふ所の手及び食器も完全に殺菌されたことを保證されなければならぬ。それには又如何にすべきかと云ふに、飲食物は一切煮沸するか又は焙炙ことである。食器も煮て使ふ、手は煮ることも燒くことも出來ないから、石鹸で洗つて消毒液にひたし、煮た手拭で拭乾かす、それが面倒ならば疑はしい手指は七〇%位の酒精を綿に浸して拭くが宜しい。此だけの心得を嚴重に實行するならば、消化器性の傳染病は恐るゝに足らない。併しながら猶且つ如何なる粗漏がないとも限らぬから、それには常に胃腸を健全に保つことを心懸なければならぬ、胃腸が健全であるならば、少々の病原菌位は自ら胃腸内で殺されるからである。

最後に有害動物と云ふのは、右に述ぶる如き恐るべき傳染病を媒介し傳播するところの動物で。その第一に數ふべきは蠅で、最も恐るべきものである。故にこれは極力撲滅をはかり、飲食物並に食器には絶對に近かしめてはならぬ。それには蠅の發生すべき便所及び塵埃溜には注意して時々石油乳劑又は

片脳油の如きものを撒布し、臺所附近に食品の殘渣などを沿かぬ様にし、料理を經た食物は總て蠅帳又は戸棚乃至冷藏庫等の內に入れて置き、食卓の上でも食事にとりかゝる迄は金網でも被せて置くやうにする。次には鼠も甚だ危險であるから、努めて捕獲し撲殺し、家屋內何處にも鼠の餌となる様な物を出して沿かぬやうにし、特に厨房に出入の出來ぬ様に締りをする。

尙ほ蠅や鼠とは少しく趣が異るけれども、同じく夏期の有害動物に數ふべきは蚊と蚤とである。蚊と蚤とは單に人を螫して煩はしいのみならず、往々有毒のものがあつて、その螫傷から腫瘍又は皮膚病を發せしめることのあるのみならず、蚊の中には麻刺里亞の媒介者として有名なものがあり、蚤は又ペスト或は發疹窒扶斯の媒介者となることが知られて居るから、蚊の發生する水溜などには矢張石油乳劑の如きものを入れて發生を防ぎ、蚊遣、蚊帳等を利用して、螫されぬやうに用心し、蚤は大掃除の際に注意して床上床下の塵埃を除き、疊の下には新聞紙の如き物を敷いて十分にナフタリンの様な物を撒き室內には一匹も居らぬやうにしなければならぬ。

これが略ぼ右の三大敵に對する衛生上の防禦及び策戰計畫の要領である。

生水を飲むの可否

生水を飲む事の危險は既に久しい以前から知られたことで、殊に夏期の衛生上最も深く注意されたところである。然るに近頃又生水が藥になると宣傳する人物があつて、なる程これに贊成し兒童等にもがぶ〳〵と飲むことを奬勵する向もあると聞くが、これに就て文部省學校衛生官補中川正儀氏は左の如く談られたと云ふことである。

清淨な生水を飲むことが近ごろ非常に宣傳されてゐるが、それでなくともこれから暑氣になると渴を慰するために自然に生水を多く飲むやうになり、小

學自童などは運動したあとで學校でも家庭でも夢中でガブ〳〵飲んだりする場合が多いが、これにつき文部省學校衛生官補中川正儀氏は語る。

『生水を子共に飲ませるのは水の良否が第一の條件で、水質が淨水の判定にかなつてゐれば適度に飲んでもよいが、よごれたり危險があれば絶對にゆるされぬ、水道の水は一定の檢査を經て水質は判明してゐるからそのまゝ飲んでもよいが、たとひ水道の水でも水栓に口をつけて飲んだり、蓋のないバケツなどに汲み置きの水はあまり良くない、各人に定めたコツプで水道から直接に飲むか、家庭ならきれいなガラス瓶等の器に入れて置いて飲むやうにしたい。

公園等に飲用噴泉といつて清淨な水が噴出してゐる所へ口をやつて飲むのがある、この方法が一等よろしいので、學校等で生水を飲ますとすれば、この飲用噴泉が理想的のものである、せつかく水が清淨であつても器や手が汚れてゐるため淨水を汚して腹に入れると危險は當然のことである、井戸水を飲む場合はよほど注意を拂つて常に水質の檢査をして置かねばならぬ。

檢査の方法はいろ〳〵あるが第一は理學的の檢査で、水に臭氣はないか、變つた味はないか、混濁してゐないかと水の異狀の有無を注意するので、これは素人でも良否が知れる、第二は化學的の檢査で有機物のあるのは駄目だ、第三は細菌學的の檢査で、水の中にゐる細菌はある程度まで飲んでも無害ときめてある、併し傳染病菌が一つでもあれば勿論駄目だ、理學的檢査も子共は少し位は濁つたり臭氣があつても氣づかずに飲むから監督者が注意してやらねばならぬことで、毎年一度は必ず井戸水の水質を檢査する必要があるが、別けて暑氣に向つて來たからこの際特に水質檢査の必要があると思ふ。

蓋のない井戸はホコリが多いし、井戸側の腐つてゐるのは大抵その水は惡質だ、ホコリの多少についてはポンプ井戸はよほど安全だが釣瓶井戸には危險

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

が多い、生水を飲む量はきめられぬが、子供は飲み過ぎるからいけない、運動したあとで飲みたいだけ飲む如きは良くない、水飲場に小學校等で、監督者を置く必要がある、市内の小學校に學校看護婦のある處もあるが、どの學校でもこの注意が欲しい家庭では主婦が十分に氣をつけて、出來るなら渇した時に生水を飲下しないで口をすゝぐ程度にとめるやう習慣づけたい、硬質の生水だとたとひ清淨水でも腹をこはし易ひ、井戸水は濾過して使用するやうになれば眞に理想的だ、淨水の水道であつても若し給水管に故障があつて有機物やゴミを含んでゐる場合は當然注意せねばならぬ、つまり生水を飲むことを奬勵するのは條件なしでは弊害がある、殊に地方の井戸水は考へものだと思ふ』。

食ひ合はせ

凡て物事の進歩發達、人類が文化に趨く過程には必ず革新、改良と云ふことが必要である。併し革新、改良と云ふことを企てると、兎角過激に走つて脫線し易いもので、それは東西の歴史が實證して居ることである、それで古來の儀禮慣習を改めるには餘程愼重の態度を執らなければならぬ、併しながら今日の實驗科學上から見て、明かに誤謬であり、迷信に過ぎないやうな事を固執してゐては、人類の福祉を妨げることになり、文化の障碍となるのであるから、それは極力廢棄しなければならぬ。他の事は姑く措き衛生上に於ては我國では漢方流の空想的哲學的醫學の餘弊が未だに民間に殘つてゐて、實に甚しい損害を來してゐるものがある。殊に榮養論に至ては滑稽であり馬鹿らしくもあり、更に惡むべき頑愚の惡徒であるとさへ思はしめるものがある。實際國民の保健上に妨害ある愚說を漫說するものは眞の國賊である。例へば產前產後の菲絕ちと云ふ如き榮養不給を强制する惡風に就ては、既に遙の昔、我が國產科の泰斗賀川玄悅先生がその非を喝破されたが、二十世紀の今日尚ほ且つその愚を固執する者あるは、慨嘆に堪へない次第である。これと同じく俗に「食ひ合はせ」と稱して、幾多の食物の間に於て、それを同時に食すれば有害で

あるとか、甚しきは死を致すなど〻云ふ迷信臆説が非常に多く行はれて居る。これは我國の料理の外國に比して貧弱幼稚にして國民榮養の上にも尠なからざる仇をなして居る事と思れる。然るに此事に關して榮養研究所の村井政善氏が自體實驗に依て大半その迷信に過ぎざることを證明されたるは大に價値ある貴き業績であると信ずるがま〻に同氏の談なりと云ふ「食ひ合はせの研究」の一篇を玆に掲げて會員諸姉の參考に供する。（篇者識）

食ひ合せといふことは昔から多くの口授傳説があつて、現在でも世間にいひふらされ、信ぜられてゐる數は隨分多いのです、ところがこの食ひ合せについては迷信的のものが多く、ある地方では食ひ合せの危險が信ぜられてゐるものが他の地方では平氣で用ひられてゐるのが少くありません。

かやうなむじゆんや滑けいがなぜ出來たかといふに、たまたま胃けいれんを起すべき狀態にあつたり、下痢を起さんとしてゐるときに食ふたがために食ひ合せと信ぜられたり、既に腐敗してゐるものを食つて中毒したり、あるひはまた食ひ合せなくても一つものだけで中毒するもの（たとへばジヤガイモの芽の如き猛毒のあるもの）を食ふたが爲に食せ合せと信ぜられて來たのだと思ひます。

眞の食ひ合せといふのは、ある食品の成分と他の食品の成分とが化合して、有毒分を生成する、あるひは消化酸素の働きを止めて、消化作用を著しく減ずるか、あるひはまた刺戟物を産出して消化器粘膜の炎症を起さしむる結果より生ずるものでなくてはなりません。

しからば如何なる食品と食品が眞の食ひ合せであるか、あるひは迷信に過ぎないかといふことはこの研究が生命に關する問題であるため從來的確な研究が試みられてゐなかつたのであります、そのため口授傳説のま〻になつてゐたのでありますが、私はそれに多くの疑問を抱いてゐたので十數年間實驗を續けて來ましたが更に化學的研究を志し榮養研究所において大正十二年の二月から十三年末まで私及び

二三名の助手と共に一日二回ないし三回づゝ二日間あるひは三日間づゝ試みて研究を重ねました。

それによりますと、いづれも化學的の根據あるものとは受けとり難いものゝみで確實口授傳說を否定し得た結果を擧げて見ますと次の如きもので、

鰻と梅干

ウナギと梅干は、古來より食ひ合せの大王としておそれられてゐるもので、共食すれば一種の毒物を生じ、中毒すれば生命にかゝはるといはれたものであります。現に今年の二月號のある雜誌には某氏が食ひ合せの中毒を述べられ自分も中毒したといつてゐますが、私の研究ではなんともありませんでした。

第一回　の試みはウナギのかば燒五十匁、梅干十匁を、朝、晝、夕と三日間

第二回　はウナギ霜降り刺身として五十匁宛鹽氣なしにして、梅干と共に夕一回づゝ二日間

第三回　はウナギの白燒五十匁梅干醬油にて晝夕一回づゝ試みました（この研究期十月中旬より十月下旬まで）

第四回　は青梅の極く未熟のもの十匁（約四個）をかば燒と共に二日間、次に白燒と共に五十匁を二日間

第五回　は鹽づけにした青梅を前同樣にして二日間づゝ食しました、この時は梅雨期の最も危險な頃でありました

第六回　は鹽づけ梅の汁即ち白梅酢約三勺とかば燒ウナギ晝食に一回宛三日間、次に白燒にしたもの晝食に二日間を試みたのでありますが何等變つたこともなく無事でありました。

私の研究した時は若し晝に食はんとするには前夜より斷食し晝食とはいへ午後二時半より三時までに試みたのであります、その中最も危險であると心得てゐた白梅酢は飲むに困難でありましたから、湯ざましを增して飲みました。

タニシとソバ

タニシは非常に不消化物であります。そこへソバの不消化物を食ふので食ひ合せの中毒物の中に數へられる樣になつたのでせう、私の試みたのはソバとタニシを共に煮たのと、今一つはゐたにしたタニシと、もりソバでありましたが、過食しないかぎり何等の中毒症狀を見ませんでした、傳說に生のタニシにソバ粉をふりかけたとき、タニシはとけたといふのがありますが、食ひ合せ說はこゝから生れたのかと思ひます。

フグの中毒

「フグは食ひたし命は惜しし」といはれてゐる程で、フグは食ひ合せなくても、フグだけで中毒することがあり、この爲めに一命を棄てる人も多くありますが、フグにも中毒するのとせぬのとあります。フグの中毒はある菌のために起すことであり、この中毒については說明が必要ですが、こゝには省略します、(詳しくは東京府農會發行拙著實用農村料理參照)私は關西及九州旅行中、度々フグ料理を食ひ、ノリ卷のすしと食ひ合せて見ましたが、何等變つたことがありませんでした、食ひ合せとは、緣が遠いが夏季五目ずしの中へ、腐敗し易き魚類を醬油づけにして用ひたり、あるひは素人目に見えぬシイタケの如き極めて腐敗しやすきもの、かんぴようなどを暖まりのある御飯にまぜるが如きは一層危險な事です。

牛肉とホウレン草

日本人は牛肉を生でたべ、ホウレン草を生食することはありません、私は煮た牛肉を食した後、ホウレン草の生食を三四回試みましたが何のこともありません、しかしホウレン草の中には往々サナダムシの卵があるおそれがありますから、生で食ふことは危險ですが、煮沸して食ふのなら決して食ひ合せの中毒はありません。

兎肉とカラシ

兎の肉は味淡白なものでありますから、ショウガや陳皮カラシなどを調味料とすることは頗る妙で、

とり合せのよい物であります。食ひ合せの中毒は決してないと信じます。

ハツカとジヤガイモ

ハツカのはいつたお菓子をたべジヤガイモの煮たものや燒いたものを食ふたからとて中毒はありません。西洋料理の中にはペパーミントを使用したジヤガイモの料理法も種々あります。

雜報

○乳兒用牛乳

日本兒童學會にては、先年來特別委員を設けて「乳兒用牛乳」に就ての研究に著手し、各專門家の意見をも聽取したる結果、この程愈〻その成案を得て、各方面に發表する所ありたり。その全文左の如し。

兒童用牛乳に就きて

本邦に於ける牛乳の需要は未だ途せざれども年々非常なる勢を以て其量を增加しつゝあり。殊に兒童に於て其然るを知る然るに、其品質に至りては却て粗惡に赴かんとするの事實に遭遇すること頻頻たり。かくの如きは本邦兒童保健衞生上寒心すべき不祥事にして、將來國民體質に及ぼす影響寔に少からず。本會茲に看る所あり。最も理想とすべき牛乳を舉示して「乳兒用牛乳」となすこと左の如し。乳兒用牛乳の實現に就きては本邦現時の社會狀態に照合して、或は直に行ひ難しとするも、製造、販賣、需要の三者が眞摯に努力するに於ては必しも難事に非ざるべしと信ず。

乳兒用牛乳

一、乳牛は健康なるものにして搾乳及び其後の處置をなす人は傳染性疾患を有せざること

一、搾乳及び其後の處置は總て出來得る限り清潔且無菌的なること。

一、牛乳のまま飲用するを理想とするも牛乳にては細菌增殖を防ぎ難きが故に煮沸消毒（攝氏百度にて五分乃至七分）又は低熱消毒（攝氏六十度乃至七十度にて三十分間）を施すを安全とす。但し其程度を越えて牛乳の變質を來し乳兒榮養品として不適當なるに至らしめざること。

一、牛乳は純粹の儘にて水、模造物質、糖、澱粉、消毒藥、「アルカリ」劑等一切の混和物を含有せしめず脂肪を增殖するが如き處置を加へず各罎內の脂肪含有量を平等ならしむる爲分配前十分攪拌すること。

一、搾乳より消費者に到着する迄の時間は出來得る限り短縮し二十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四時間以上とならざること。

一、消毒の際を除き榨乳直後より消費者に到達する迄の間常に牛乳を低温に保ち攝氏十度以上たらしめず以て細菌の增殖を防ぐこと。

一、牛乳の消費者に到達したる際其比重は一〇二八乃至一〇三四（攝氏十五度に於て）脂肪含量は三乃至四・五%酸度は「ソクスレット、ヘンケル」四乃至八度、一瓩内の細菌數は病原菌の絕無なるは勿論、非病原菌と雖も一萬以下なること。

○母の學校

萬國兒童協會から我國に宛て送つた依託金二萬三千圓は英國大使館から愛國婦人隣保館へ屆けられた。これは英國では主に子供の福祉事業の爲にとの趣意なので、隣保館でもなるべく兒童の爲に使ひ度いと目下使途を考へ中であるが、ほゞ計畫された所によるとまづ英國の福祉事業にならつて兒童福祉センターを作り兒童の運動休養慰安に努め又育兒、兒童相談所をたて子の多い妊婦の爲には產前產後四週子供をあづかる設備もそなへる由である。更に兒童センターに附隨した「母の學校」もたて妊婦及母たる婦人未婚で將來母となる希望の婦人に母としての常識の教養にあてられるさうである。

○蠅及蚊の天然敵保護案

東京醫師會に於ては帝都復興に關する衞生的施設につき市長及び警視總監等に種々の建議をなしたるが、これ亦その一なり。

蠅及蚊の天然敵を保護繁殖せしむべき施設に關する建議書

農作物の害蟲を驅除する目的を以て其天然敵たる鳥類其他の動物を保護する法令は既に其實施を見ること久しきも人類の害蟲たる蠅及蚊等の驅除に就きては從來唯人爲的方法を講ぜらるるのみにして未だ其天然敵を保護する道に出でざるを遺憾とす神奈川縣に於ては農作物保護の目的を以て數年前よりトンボ及蛙類の捕獲を禁止したるが其效果は市街地に於ける蠅及蚊の繁殖にも亦影響を及ぼしたりと聞く本市に於ても小學校兒童に人類の害蟲に對する天然敵を捕獲せざる樣訓話を行ひ更に進みて其繁殖を助くる爲め之れを郊外より市內に誘致し其安住の場所を與ふべく公園特に小公園・墓地・河岸地等に小鳥の巢箱及び蝙蝠塔を造り大に人爲の足らざる處を補はしむることの緊要なることは北米合衆國に於ける鳥類保護協會の施設に見て明瞭なり現に兵庫縣に於ては小鳥巢箱四千個を設備して害蟲を防ぎ近く明治神宮內苑に於ても此の方法より害蟲を絕滅したりと聞く蠅は一日數回必ず屋外に出でゝ綠樹靑草を求め其間を飛翔する習性あるを以て小鳥を市街地に誘致するときは單に樹木の害蟲を驅除するのみならず能く屋外に逸出する蠅を捕食するの用を爲すものなり燕が好んで酒舖等の軒頭に造巢するは能く蠅及蚊と野鳥との關係

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を説明する一資料にして蝙蝠が蚊を貪食する事實も亦其一名を蚊喰鳥と稱するに見ても明なり是等の理由に基き市は蝙蝠及蚊の天然敵保護に關し相當の施設を實行せられんことを望む。

會報

○婦人衞生會總會並に懇親會

四月二十六日(日曜日)午後一時より學習院女學部構内常磐會館に於て本會總會並に懇親會開催　當日は總裁東伏見宮殿下御台臨又梨本宮女王殿下にも御成り有り、會務報告並に左記講演餘興を聞し召され御機嫌麗しく御歸還遊されたり出席者二百名に近く盛會なりき。

一、講演

公衆衞生の話　醫學博士　三浦謹之助先生

一、餘興講談　邑井貞吉

當日の出席役員

會長　侯爵夫人　鍋島榮子
副會長　子爵夫人　濱尾作子
理事　鳩山春子
同　岡田德子
同　高木鍱子
同　山口貞子
同　天野多喜子
同　三浦敎子
評議員　土肥多越子
同　丹波貞子
同　子爵夫人　松井正子
同　瀨川さわ子

當日宮家より御下賜金の他左の寄附ありたり。

一、金五圓　侯爵夫人　鍋島榮子
一、拾圓　子爵夫人　濱尾作子
一、五圓　鳩山春子
一、五圓　岡田德子
一、五圓　高木鍱子
一、五圓　天野多喜子
一、五圓　三浦敎子
一、五圓　土肥多越子
一、五圓　山口貞子
一、五圓　瀨川さわ子

以上

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衛生會役員氏名

總裁　東伏見宮大妃周子殿下

會長　侯爵夫人　鍋島榮子

副會長　子爵夫人　濱尾作子

（いろは順）

理事　鳩山春子　　同　長谷川仲子
同　岡田德子　　同　高木鍱子
同　山口貞子　　同　天野多喜子
同　三浦敬子

評議員　入澤常子　　同　羽田三緒子
同　服部繁子　　同　原光子
同　子爵母堂　仁禮壽賀子　　同　土肥多越子
同　緒方悦子　　同　岡山とし子
同　小川孝子　　同　男爵母堂　加藤鈴子
同　片山龜子　　同　吉岡彌生子
同　丹波貞子　　同　高橋孝子
同　中濱芳子　　同　松平芳子
同　子爵母堂　松井正子　　同　男爵夫人　古市幸子
同　近藤憲子　　同　相磯まさ子
同　男爵母堂　青山孝子　　同　岸澄子
同　菊地粲子　　同　宮本樂子
同　三宅藤子　　同　守屋千代子
同　瀬川さわ子

大正十四年五月二十九日印刷
大正十四年六月一日發行

編輯者兼發行者　東京市本郷區駒込千駄木町五十八番地　莊司秋次郎

印刷者　東京市本郷區駒込林町百七十二番地　柴山則常

印刷所　東京市本郷區駒込林町百七十二番地　合資會社　杏林舍

發行所　東京市本郷區駒込千駄木町五十番地　私立大日本婦人衛生會事務所
（振替東京一〇六〇〇番）

賣捌所
東京市本郷區龍岡町　吐鳳堂
同　市銀座三丁目　東海堂
同　市京橋區鈴屋町　良明堂
同　市本郷區龍岡町　南江堂支店
同　市芝區愛宕町　明文館
京都市寺町二條南入　若林茂一郎
東京京橋元數寄屋町　北隆館
同市神田區表神保町　東京堂
同市本郷區本富士町　盛春堂
名古屋市榮町六丁目　丸善書店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

陣痛催進劑
ピツイトリン

ピツイトリンの產婦人科領域に於ける聲價は眞に隆々たり。

之蓋、本品は子宮に作用して之を收縮せしめ、而も他の子宮緊縮藥に於けるが如く、其性質强直性ならず、〇・五乃至一・〇gの注射により、能く速に陣痛强盛を來して、產期を短縮せしむる效果、顯著確實なればなり。

ピツイトリンは又强心、止血、利尿の作用ありて種々なる內科的疾患に試みられつゝあり。

【文獻第あり御申越次第進呈す】

製品硝球 一cc入
三管宛

妊娠悪阻特效藥
ユゴール

ユゴールはドクトル飯田左三先生の發見せられたる悪阻の治療藥にして、多數實驗家の臨牀成績は妊娠悪阻に對し、顯著確實の奏效を示したるのみならず一般諸種の嘔吐患者に對しても亦用ふるに足る藥劑なるを明にせり、而してユゴールは些の副作用なく、之れが應用は何等の不安、何等の顧慮をも要せずと稱せらる。

【文獻御申越次第進呈】

◆賣品種類◆

注射用ユゴール
一cc硝球十管入

內用ユゴール
膠球(〇・三瓦)五十球入
同百球入

發賣元 三共株式會社

本社 東京室町

出張所 大阪北淡路町
臺北府後街

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN